

ミニギャラリー

今月の題字



熊野第二小学校6年  
前西 葵緩さん



熊野第二小学校 3年 伴之木 陵太さん

【評】「り」の一面目と二画面のつながりに気をつけて書けています。



熊野第二小学校 1年 片山 陽月さん

【評】「マツボックリツリー」「あさがおりーす」「秋の俳句」の秋の三作品です。生活科で見つけた秋の宝物を作りました。感じた秋を表現しています。

町の人口と世帯数

平成27年12月31日  
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (317)

コフキサルノコシカケ  
(マンネンタケ科)



キノコの下や傘の上には、ココア色の粉が積もっています。この粉は胞子です。傘は灰褐色から灰白色ですが、しばしば胞子に覆われてココア色になっています。粉を吹いたように見えるので「粉吹」の名があります。下面の白っぽい部分は管孔で、管孔の中でできた胞子は孔口から出ます。孔口は微細で、1mmに4〜6個も並んでいます。写真のキノコは幅12cm厚さ4cmでしたが、多年生で大きなものでは幅60cm厚さ20cmにもなります。無毛で、成長につれ上面には環溝ができ、下面の管孔も1年に

1層ずつ多くなります。肉は褐色で硬いコルク質です。ウメ、サクラ、クリなど広葉樹の枯木や倒木に出ますが、まれに針葉樹にも発生します。心材を白く腐らせる白色腐朽菌です。

キノコの下や傘の上には、薬用として有名で、漢名は樹舌。特に癌に対する効果があるとされ、細かく切断し煎じて服用します。猿の腰掛の名が付いていますが、サルノコシカケ科ではなくマンネンタケ科に分類されています。胞子に2重の膜があり、外側の膜は無色で厚く、内側の膜は黄褐色で、多数の突起があり外側の膜に突き刺さるといふ、マンネンタケ科に共通の特徴を持つからです。世界に広く分布し、庭木や街路樹にも出ますが、町内ではあまり見えていません。

【写真・文】  
緑花文化士 富沢由美子

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。

県内市町発!!

おすすめイベント



【三原神明市】

備後地方の先駆けとして知られ、毎年30万人以上の人手で賑わう西日本有数の緑日。期間中は、500軒を超える露店や催し物が軒を連ね、植木市やダルマ市も開催される。祭りのシンボルとして、高さ39m、重さ500kgもある日本一の大ダルマが登場! また、約60年ぶりに復活した、張り子のだるま行列が今年も登場。

時2月12日(金)〜14日(日)

所JR三原駅北側一帯

¥無料

問うさしるロビー 観光案内所  
0848-67-5877



三原観光協会

(商工観光課)



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

